

熊本学園大学水俣学研究センター第15回公開セミナー

「水俣病」を伝えるセミナー のご案内

熊本学園大水俣学現地研究センター
水俣芦北公害研究サークル
熊本県教職員組合水俣芦北支部

水俣病公式確認から55年が経ちました。この間、「水俣病」は何度も終わりとされました。最近「水俣病を教訓として」という言葉が頻繁に使われます。水俣の学校現場では、「環境を大切にす明るい水俣を発信」することが求められています。

しかし現状を見てみると水俣病問題は、何ら解決はしていません。むしろ問題が複雑化してわかりにくくなっています。また、水俣病の教訓とは何でしょう。「水俣病」の何をどう教訓とするかはあまり語られません。環境を大切にすという考え方は、命や人権を踏みにじった公害を経験して生まれたものではないでしょうか。

今回私たちは、原点に戻って、「水俣病」の歴史と水俣病とともに生きてこられた当事者(=患者)から学ぼうと企画しました。多くの皆さんの参加をお待ちしております。

記

- 1 日時 ① **8月12日(金)** 18:00~20:00
☆ 50年以上、常に被害者の視点で水俣にかかわってこられた**原田正純**先生のお話

② **8月25日(木)** 18:00~20:00
☆ 患者・**坂本フジエ**さん(胎児性患者・坂本しのぶさんのお母さん)のお話
- 2 場所 水俣市公民館 2F 研修室
(住所:水俣市浜町2丁目10-26 Tel:0966-63-8402)
- 3 その他 参加費無料
※ 毎回、会終了後 **交流会**をします。こちらにも奮ってご参加ください。

※ 問い合わせ先 水俣学現地研究センター TEL/Fax:0966-63-5030